

# 大阪保険医雑誌2002年総索引

2002年1月号～12月号 (通巻420号～431号)

## 表紙写真

1月号	南仏風景	井村昭三
2月号	雪の白川郷	栗田 清
3・4月号	一枝の梅	楠 研二
5月号	朝景	加藤甫明
6月号	光芒	近藤宏和
7月号	祇園祭(宵山)	吉田一雄
8月号	満喫	加藤甫明
9月号	尾瀬の木道	森田重治
10月号	カナダの紅葉	新山昭次
11月号	秋燈籠	神野健栄
12月号	ルミナリエ	三好宏和

## ピープル

1月号	ドイツにおける加害の歴史認識のための施策	平田哲男
2月号	路上生活者を凍死から守る寝袋を!	北出裕士
3・4月号	人生を上手に遊びたい	河瀬葉子
5月号	学校事故とホームドクター	良井靖昌
6月号	「PKDの会」関西支部の創設めざして	橋本文文
7月号	アートと社会が共生するために	山下里加
8月号	「こんばんわ、体の調子はどうですか?」	小川裕子
9月号	気軽に現代美術を楽しもう	村田典子
10月号	思いに応えるために	佐保克彦
11月号	野外の風に吹かれて	東海亮樹
12月号	中国琵琶で文化の交流	閻 杰

## なにわ医見

1月号	風前の灯火(拓)
2月号	民間医療はおふくろの味(弓)
3・4月号	求められる“男らしさ”の再点検(景)
5月号	患者になってみて(正)
6月号	少年時代の小児医療に政策提言を(美湖)
7月号	もはや避けては通れない(正)
8月号	ヤルタ協定とソ連での抑留(平)
9月号	薬とグローバリゼーション(景)
10月号	協会の政策活動と特集ガイダンス(正)
11月号	海外の経験から学ぶこと(正)
12月号	地産地消のすすめ(景)

## 特集

### 1月号「灯」

絶望の淵に見出す希望の光	映画に見る灯	嶋田邦雄
小さな文学の灯二つ		瀬沢純平
「灯の香」な我が灯		日下部祐子
「うたごえ喫茶」の半世紀	歌と灯	大野幸則
あかりの変遷	武石村ともしび博物館への誘い	金井善男
日本文化における「あかり」		岡崎邦夫

ジェンダー特定のイメージからの解放	看護と灯	中島憲子
医療と灯		野村 拓
「遊辺慕情 香盤愁」	踊り子と灯	成田一郎
○読者投稿「灯さまざま」		
夜行列車の灯		紀野 正
灯三題	ランプ勉強と山小屋の灯	守田由雄
あの「灯火管制」に思う		二宮聖耳
未来を照らす「灯」を		高橋甲子夫
伝統のともしび		金山英男

### 2月号「民間医療の現在」

民間・代替医療	巨大化する地下医療への対応	丁 宗鐵
民間医療の<有効性議論>をめぐって		佐藤純一
日本における健康食品の現状		小内 亨
遠藤青汁	ベストセラーの秘密	伊藤伝一
○対談「民間医療の現在	医療におけるオール	
タナティヴの可能性」	村岡 潔/岡崎邦夫	
○読者投稿(1月号「灯」続き)		
消えた灯よ再び		堤 俊郎

### 3・4月号「ファミリー・バイオレンス」 ——〈家族〉という病①

◆タイトル解題		
ファミリー・バイオレンス	愛と暴力の迷路	
		井上眞理子
○「ドメスティック・バイオレンス」を考える		
男たちへのただ1つの期待	ジェンダー拘束から	
個の尊重へ		北原みのり
ドメスティック・バイオレンスは公衆衛生の問題		
である		森田ゆり
男らしさと暴力	「メンズサポートルーム」の	
取り組み		中村 正
弁護士から見たDV防止法	医療関係者に望む	
こと		渡辺和恵
○インタビュー/日本DV防止情報センター・川畑		
眞理子さんに聞く		
「医療はDVとどう関わるか」	聞き手・岡崎邦夫	
○「子ども虐待」を考える		
被虐待者として、医師として		菊井知子
心理相談員から見た児童虐待		上原優子
児童虐待は家族の病理なのか		上野加代子

### 5月号「医療とコミュニケーション」

臨床におけるコミュニケーション論		村岡 潔
待合室にて		澁谷 道
人生さまざま	待合室から発信するメッセージ	西村明子
良好なコミュニケーションこそ労務管理の基礎		桂好志郎

○座談会「患者の気持ちに寄りそうコミュニケーションとは」 藤崎和彦／高橋一郎／紀野 正  
 ○インタビュー／淀川キリスト教病院・田村恵子  
 さんに聞く  
 「ホスピスケアの現場から」 聞き手・中村厚

## 6月号 「小児医療の危機」

日本の医療と小児医療の危機 小児科医が何を  
 しなければならないか 大西鐘壽  
 「小児医療」「小児救急」「小児科」の危機は国際的現象か？ 眞鍋 穰  
 病院勤務医から見た小児医療の問題点 原田佳明  
 小児科の診療報酬はこれでよいか 片桐真二  
 小児科勤務医の苦悩 医界への「73歳の遺言状」 鳥居昭三  
 私が小児科を選んだ理由 大西 聡  
 いわゆる「内科・小児科」の活用方策について 守田由雄  
 ○インタビュー／大阪府医事紛争処理委員・西田  
 勝先生に聞く  
 「小児医療におけるトラブル」聞き手・菊井知子  
 ○インタビュー／大阪市救急医療事業団理事・鶴  
 原常雄 先生に聞く  
 「大阪の小児救急の現状と課題」 聞き手・中村厚

## 7月号 「医療IT化の最前線」

医療のIT化 グランドデザインの光と影 中村 厚  
 経済産業省補助事業OCHISの概要経過と今後の展開 松村泰志  
 国立大阪病院での脳病診連携の実態とその効果 楠岡英雄  
 大学病院における脳病診連携の試み 朴 勤植  
 インターネットを利用した新しい病・診連携システム 井川澄人  
 電話線ADSLでの病診連携 藤田峻作  
 レセ電算は果たしてバラ色か 橋本 巖  
 個人情報一元化の危険性 砂間裕之  
 ○インタビュー／松岡正己先生に聞く「医療IT化で  
 広がる連携の可能性」 聞き手・笹川 征雄／中村厚

## 8月号 「脱米入亜——アジアのなかの日本」

◆テロ報復戦争をめぐる日本 憲法が有事法制か  
 論考「下請け“有事”とアジア アメリカ覇権主  
 義への姿勢」 野村 拓  
 講演録「テロ事件以降のアメリカと日本の有事法  
 制」 安齋育郎  
 講演録「軍隊を廃止した国 コスタリカ」  
 カルロス・バルガス  
 ◆アジアの隣国・中国と韓国との関係を考える  
 ○座談会「日本と中国の戦争と交流」  
 笹志剛／坂手日登美／長谷川暁子／竹内治一  
 論考「日中両国人民の忠実な娘 緑川英子の生  
 涯」 李 云橋  
 ○座談会「在日コリアンから見た大阪・日本」  
 呉 海龍／趙 康造／佐藤一夫

◆海外支援から見た日本  
 ネパールの医療支援と日本 高橋泰行  
 日本の子ども、アジアの子ども 岩谷敏子  
 EU並みの“AU”をめざそう 高橋甲子夫

## 9月号 「薬価制度改革は“終焉”したのか」

薬価制度改革は“終焉”したのか 別府宏園  
 医療制度改革と薬価制度について 高尾良昭  
 大手製薬企業 1人勝ち 戦略と国民医療 東久保隆  
 ジェネリック医薬品、使用の根拠と実際について 高本英司  
 開業して薬について改めて考えてみた 橋本健太郎  
 後発品に切り替えることの意味 古久保和子  
 医薬品の広告について思うこと 北澤京子  
 患者による患者のための臨床試験ワークショップ 松田美樹子  
 国民的な議論を 薬価の取材を終えて 平山穂波  
 ○インタビュー／医薬工業協議会・杉浦好昭さん  
 に聞く  
 「ジェネリック薬のいま」

聞き手・紀野正／岡崎邦夫

▶資料「医薬品の有用性評価・薬害防止・高薬価の  
 是正のための提案」

## 10月号 「日本の針路と医療改革——大阪協会政策論集1」

○講演録「21世紀初頭の医療と介護  
 小泉政権の医療制度改革の実現(不)可能性  
 にも触れながら」 二木 立  
 ○講演録「どうなる金融・経済情勢？  
 日本経済に未来はあるか」 山家悠紀夫  
 ◆小特集「脱米入亜」(8月号続き)  
 戦没海軍軍医の医学教科書 野村 拓  
 アジアの農業と日本 鬼頭俊而

## 11月号 「日本の針路と医療改革——大阪協会政策論集2」

○講演録「『絶望の島』から『希望の島』へ  
 スウェーデン・モデルの復権と日本の進路」  
 神野直彦  
 ○講演録「公的医療費抑制は医療現場の荒廃を招  
 く 医療費拡大に転じたイギリスから学ぶ」  
 近藤克則

## 12月号 「食の安全」

食の未来とグローバル化 古沢広祐  
 食品の安全確保の仕組みをつくるために 藤原邦達  
 食品表示とは何か？何を信じるべきか？ 垣田達哉  
 食品の安全 「法」はどのように関与すべきか  
 神山美智子  
 有機農業で安全な食料を全国民に供給  
 キューバの自給の取り組み 吉田太郎  
 早くて安ければ、それでいいのか 榊田みどり  
 病院給食の現状 畠山久夫

◆小特集「『赤い夕陽と黒い大地』出版記念会及び黒竜江省社会科学院名誉研究員授与式」  
 「『赤い夕陽と黒い大地』が中国で出版 竹内先生同行記」 澤田和子

## テキスト

- 1月号 抗血栓療法の最近の考え方 濱田偉文  
 2月号 日常診療に役立つ糖尿病診療の実際 土井邦紘  
 3・4月号 胸部単純写真の見方 結核と肺癌を中心として 清水雅史  
 6月号 便通異常の病態と治療 北野厚生  
 7月号 虫による皮膚炎 夏秋 優  
 8月号 痴呆性疾患の早期診断と鑑別 日下博文  
 10月号 在宅医療における尿路管理の実際 桜井 勲  
 11月号 老人の呼吸器感染症 その特性と留意点 網谷良一  
 12月号 皮膚のアレルギーと心身医学 診断とその対応 羽白 誠

## なにわ友あれ

- 1月号 府医師会フィルハーモニー 深尾利津雄  
 2月号 武家の茶道 藤崎孝秀  
 3・4月号 三淀泌尿器疾患懇話会 河西宏信  
 5月号 豊能漢方懇話会 水野俊樹  
 6月号 “筋ワル碁” 一代記 三善輝夫  
 7月号 謡曲に学ぶ人生の奥義 南 浩  
 8月号 十三「つ波め通り」 小竹 武  
 9月号 本当の構造改革とは 岸本成人  
 10月号 折羽鶴（おはづる）会 藤森 弘  
 11月号 第24回保険医囲碁大会のご案内  
 12月号 近畿地区シベリア抑留者未払い賃金を要求する会 植田 彪

## ほんだな

- 1月号 『健康ランニング考』 辻 一省  
 『いのちの螺旋』 守田由雄  
 3・4月号 『いま「わが町の療養型病院」は』 野村 拓  
 『21世紀初頭の医療と介護』 宮川松剛  
 5月号 『伊勢本街道』 馬場昭夫  
 『平成千夜一夜物語』 佐藤一夫  
 『研修医はなぜ死んだ?』 二宮聖耳  
 『苦悩する市場原理のアメリカ医療』 上田浩治  
 6月号 『二次障害ハンドブック』 西谷宣雄  
 『フランスサッカーの真髄』<sup>エッセイ</sup> 坂口道倫  
 7月号 『熱中症 息子の死を糧として』 二宮聖耳  
 8月号 『9.11 アメリカに報復する資格はない』 高本英司  
 『戦後日本病人史』 小松良夫  
 9月号 『医者が薬を疑うとき』 岡崎邦夫  
 10月号 『歴史はSexでつくられる』 野村 拓  
 『猫の手 貸します。』 私流・映画と

の出会い方』 岡崎邦夫  
 11月号 『20世紀の医療史』 辻 一省  
 12月号 『200万都市が有機野菜で自給できるわけ』 岡崎邦夫

## 各科情報

- 1月号 「スキントッグ」 二宮聖耳  
 2月号 「熱性けいれんへの対応」 田中順子  
 3・4月号 「エコノミークラス症候群」 田邊良己  
 6月号 「尿失禁の治療」 朴 英哲  
 7月号 「最近の神経内科のトピックス」 嶋田一郎  
 9月号 「骨粗鬆症の診断と治療に関する最近の知見」 須藤容章  
 10月号 「歯科医からのお願ひ」 奥野奈津子  
 11月号 「『シックハウス症候群』とラテックスアレルギーとバナナ」 笹川征雄  
 12月号 「点眼薬の副作用」 岡田安司

## こーひーぶれいく

- 1月号 ベイオフ解禁 山本起義  
 2月号 甲状腺癌から社会へのオビニオン 高松順大  
 3・4月号 わたしのうつ撃退法 春名優樹  
 5月号 新米開業医のため息 中村雅一  
 6月号 “占いおばさん” 婦人科医の苦勞 岡 知子  
 7月号 沖縄での研修 西幹二郎  
 8月号 初飛行 山田 誠  
 10月号 ベルリン回想 高尾文介  
 11月号 がんばれ!! バファローズ 浅田高広  
 12月号 でっかいコンピュータ 向井直樹

## なにわの伝説（三善貞司）

102～112

- 1月号 「元祖・庚申信仰」  
 2月号 「助左の妻の不義」  
 3・4月号 「妙国寺の泣き蘇鉄」  
 5月号 「一休老いらくの恋」  
 6月号 「黒狐と虎御前」  
 7月号 「雨乞い皿池」  
 8月号 「孝女と橘逸勢」  
 9月号 「土師の孝女衣縫」  
 10月号 「豊臣秀頼の首（一）」  
 11月号 「豊臣秀頼の首（二）」  
 12月号 「豊臣秀頼の首（三）」

## 岸野令子のあまのじゃく映画時評

⑬～⑭

- 1月号 「映像で語るということ」  
 3・4月号 「ジェンダー意識からの解放」  
 6月号 「『トンネル』の示す人間の選択」  
 8月号 「セクシュアリティと向き合う」  
 10月号 「労働者階級の父ちゃん頑張る!!」

12月号 「支配していることへの無自覚さ」

**わたしの文化評**

- 3・4月号 「作品鑑賞のための情報」 堀 忠
- 5月号 「映画館以上の素晴らしさ！」 富田和巳
- 7月号 「ドキュメンタリーを觀よう」① 堀 忠
- 9月号 「追悼 ピリー・ワイルダー」 富田和巳
- 11月号 「ドキュメンタリーを觀よう」② 堀 忠

**文 芸 「赤い夕陽と黒い大地」(竹内治一)**

⑳～㉗

- 1月号 「アリランの歌」
- 2月号 「反満抗日ゲリラ」
- 3・4月号 「危機、迫る！」
- 5月号 「関東軍壊滅(一)」
- 6月号 「関東軍壊滅(二)」
- 7月号 「開拓団を見棄てた関東軍」
- 8月号 「二千人奇跡の大脱走」
- 9月号 「まぼろしの国 満州国 消滅！ 赤い夕陽よ、さようなら！(完)」

**記録小説 「シルダリアの彼方に」(植田 彪)**

①～③

- 10月号 「序章・虜囚」
- 11月号 「第一章・沈黙の大地ノシベリア」
- 12月号 「第二章・はじめてのシルクロード」

**医界雑録 (青柳精一)**

102～112

- 1月号 「李鴻章の遭難と佐藤進」
- 2月号 「後藤新平の台湾統治(上)」
- 3・4月号 「後藤新平の台湾統治(下)」
- 5月号 「ベストの大阪侵入と3人の医師の死(上)」
- 6月号 「ベストの大阪侵入と3人の医師の死(中)」
- 7月号 「ベストの大阪侵入と3人の医師の死(下)」
- 8月号 「戦没者の半数は『病死者』だった」
- 9月号 「日露戦争と横浜市医会」
- 10月号 「大日本医会が『医士法案』を国会に提出」
- 11月号 「『医士法案』国会提出の背景」
- 12月号 「大日本医会が『医師会法案』として再提出」

**女の意外史 (菊井知子)**

㉑～㉔

- 2月号 「いいもの見せたげる」
- 7月号 「もう一度食事を」
- 9月号 「おぼれる、助けて！」
- 11月号 「空港」

**大阪の文化シリーズ**

2月号 大阪の食と農業③ 富田林の冬

「鍋物の必需品ハクサイとミズナ」

- 6月号 大阪の食と農業④ 八尾市南高安  
「食物繊維とミネラル豊富な葉ごぼう」
- 8月号 大阪の食と農業・番外編「大阪外食産業協会試食会」  
「幻の『毛馬キュウリ』に魅せられて」
- 10月号 大阪の食と農業⑤「中野早生」生みの親の中野良治さん  
「サトイモ『中野早生』の里・泉州」

**勝敗をさぐる (吉野俊宏)**

294～304

- 1月号 「新春対局」
- 2月号 「投了したのが敗着!？」
- 3・4月号 「ツケて様子をうかがう」
- 5月号 「勝負処での『慎重さ』が損じた形勢」
- 6月号 「石は弱い方から動く」
- 7月号 「見通しの立たない時は『手抜き』」
- 8月号 「300回記念・大阪協会最強戦」
- 9月号 「両ゲイマ逃すべからず」
- 10月号 「明暗分けた医師の方向」
- 11月号 「トれるタネ石はトリ切っておく」
- 12月号 「自らツナがり相手を切断する手が絶好手」

**詰碁・詰将棋**

1月号～12月号

本田邦久 / 有吉道夫

**てつやとさちの「オランダ熟年日記」(角橋徹也・佐智子)**

- 1月号 「オランダの年末年始」
- 2月号 「人が造った大地」
- 3・4月号 「オランダ人とは?」
- 5月号 「足は市電、バス、自転車」
- 6月号 「歩き大好きな人々」
- 7月号 「移民問題でゆるる寛容の国」
- 8月号 「大学生活 ISSの学生の日々」
- 9月号 「街の景観は公共財」
- 10月号 「分散型ネットワーク都市：ランドスタッド」
- 11月号 「老後の暮らし方」
- 12月号 「プリンス クラウスの葬儀」

**めざせ! メールの達人 (中村 厚)**

①～⑤

- 1月号 「メーラーの初期設定」
- 2月号 「メーラーの活用法」その1
- 3・4月号 「メーラーの活用法」その2
- 6月号 「パソコンのカスタマイズ」
- 8月号 「インターネットの醍醐味」最終回